

用紙の種類と選択・製本

～一歩踏み込む提案を～

用紙の種類

【コート紙】

最も一般的な用紙。特殊な薬品を表面に塗布している。
触るとペタペタする。発色も良く色の表現性にすぐれている。

【マットコート紙】

表面にマット塗料が塗布されている。コート紙とは逆に光沢がない。コート紙よりコシがある。
表面がさらさらしており落ち着いた高級感を出しやすい。
くすみ感(色の沈み)はあるものの色の再現性に優れている。

用紙の種類

【上質紙・色上質】

質感はマットコート紙と似ているが非塗工紙である。

色が最もくすみやすくカラー印刷には適していない。

非塗工紙のため単価も比較的安価。

※非塗工紙…表面加工(白色顔料塗布をせず、原料である繊維の質感を活かした紙)

【アートポスト紙】

表面に光沢があり、厚みがある。特殊薬品が塗布されているため写真等の表現力に非常に優れている。

用紙の種類

【クラフト紙】

原料がクラフトパルプ。漂白剤を使わずそのままの色を活かした特殊紙。他の素材(コートやマット)より線維が長く破れにくく丈夫。特殊加工等をしていないので単価が安い。

【ユポ】

雨や水に濡れてもふやけたり、変形変質しない。

ひっぱっても破れる事がない合成紙。

シールのユポタック、厚みのあるユポクロス、大判のユポロール等、用途によって多数の種類があるのも特徴

さて、ここで問題です

- Q. 下記に案件に最も適した用紙はどれになるでしょう？

①:コート紙 ②:マット紙 ③:上質紙 ④:アートポスト ⑤:クラフト紙 ⑥:ユポ

- ※あくまで一例となります。

- Q.1 絵画展館内用ポスター 仕様:A1サイズ 片面カラー
- Q.2 アンケートはがき 仕様:ハガキサイズ 両面モノクロ
- Q.3 館内パンフレット 仕様:A4サイズ 観音折 仕上げ縦長 両面カラー
- Q.4 新聞折込チラシ 仕様:B4サイズ 両面カラー
- Q.5 選挙用掲示ポスター 仕様:A2サイズ 片面カラー
- Q.6 絵画展屋外用ポスター 仕様:A1サイズ 片面カラー

A. 答え(一部例外もあります。)

- **Q.1 絵画展用ポスター(館内)(A1 片面カラー)** **A.アートポスト**
 - 発色がよく拡大しても網点が目立ちにくいいため大判印刷に向いている。
 - 厚みがあるためヨレにくい
- **Q.2 アンケートはがき(ハガキサイズ 両面モノクロ)** **A.上質紙**
 - 非塗工紙であるため、鉛筆・ボールペン等での書き物に適している。
- **Q.3 館内パンフレット(A4 観音折 仕上げ縦長 両面カラー)** **A.マットコート紙**
 - コシが強いため縦置きしても腰折れしにくい。 指紋や汚れがつきにくいいため、見栄えが悪くなりにくい。
- **Q.4 折込チラシ(B4 両面カラー)** **A.コート紙**
 - 最も一般的で安価なため大量印刷に向いている(枚葉だけでなくロールもある)
 -
- **Q.5 選挙用ポスター(A2 片面カラー)** **A.ユポ**
 - 屋外掲示で雨に濡れてもいたずらされても破れない。
- **Q.6 絵画展用ポスター(屋外)(A1 片面カラー)** **A.マットコート紙**
 - 陽光反射を抑えつつ発色を良く見せる。

次頁からは製本について↓

製本の種類

【中綴じ】

見開き状態の紙を重ね、重ねた紙の中央部分を針金で綴じる。
4ページ単位での綴じとなる。

●メリット

中央部分で綴じるため針金で留めたギリギリまでページを開く事ができる。(1枚の写真を見開きで見せる等)

●デメリット

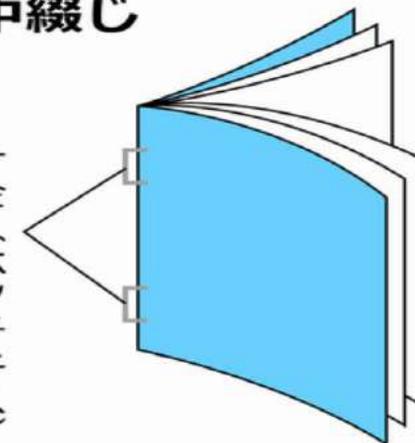
仕様上、強度が低い。開閉の繰り返しで針金部分が破けやすい。8鞍(64ページ)程度が限界

※類似製本として針金を使わず挟み込むのみの製本「スクラム製本」がある。

使用例：会社案内・パンフレット・小冊子など

中綴じ

針金
(ホッチキス)



製本の種類

【平綴じ】

背表紙ののど咥え(端)から数センチ余白をもたせ針金で数か所留める。針金を隠すように表紙部分を巻く「巻き平綴じ」と隠さない「平綴じ」とある。

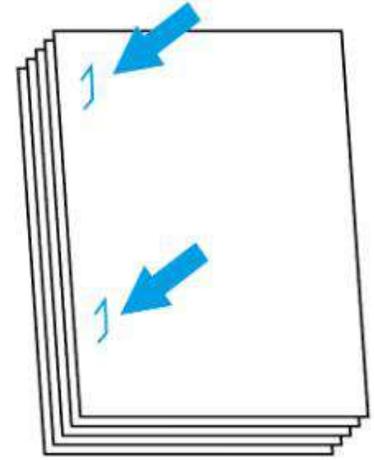
●メリット

中綴じに比べ強度がある。
背表紙が作ることができる。

●デメリット

のど咥え(端)から数センチ余白が必要なため、センター一杯まで開く事ができない＝紙の印刷幅も狭くなる

使用例:教科書・契約書・取扱説明書など



平綴じ

製本の種類

【無線綴じ】

用紙を折った「折り丁」を重ね、背の部分に糊を塗布して綴じる。
2ページ単位(ペラ)も綴じる事ができる。ただしある程度の
ページ数(基本24ページ)以上からの製本となる。

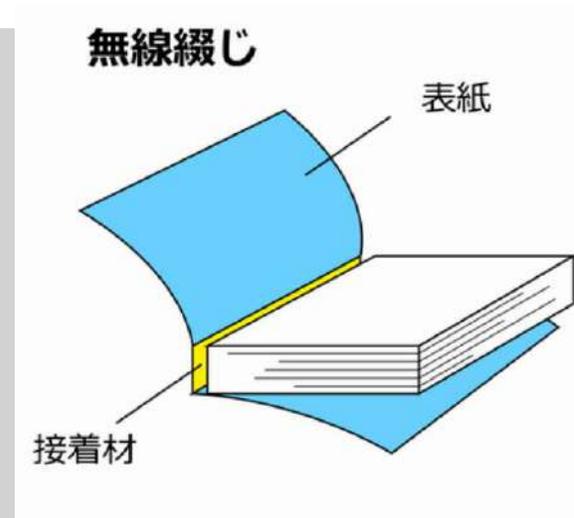
●メリット

背表紙ができるため高級感を出すことができる。
(針金製本と違い冊子が膨れる事がない)

●デメリット

接着剤を使う製本のため、高温下や経年劣化で綴じが崩れる事がある。(落丁)
薄い用紙やページ数の少ない冊子には向かない。
(綴じ用の糊が少なくなるため中取れしやすくなる)

使用例:文庫本・辞書・カタログ・写真集など



製本の種類

【あじろ綴じ】

基本的には無線綴じと同様だが、糊を塗布する背表紙部分に細かな切れ込みを入れ接着剤をより深くしみ込ませる製本方法。

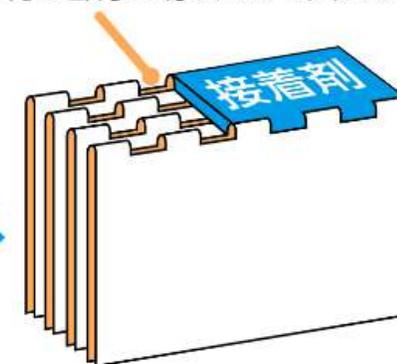
●メリット

無線綴じよりも強度がはるかに増す。
無線綴じよりもページ数が多く綴じる事ができる。

●デメリット

背表紙に加工をするため、開きにくくなる。
加工数が増えるのでコストが増す。

背を固める接着剤を流し込むため、
背の部分に切り込みを入れる



まとめ

- 同じデザイン、データ、画像でも使用する「用紙」によって見栄えは全く変わります。
- 使用目的、掲示場所によって「用紙」「製本方法」を選ぶことで最適解を提案する事ができます。
- 印刷会社はここまで提案をしてくれません。(例外はあります)
コストも大切ですが、「何を」「どこに」「どのように」に合わせて提案する事が制作デザイナーさんが作ってくれた大切な資産を最大限に活かすクライアント様の顧客満足度を上げる事ができるのではないのでしょうか。

今回の発表が皆様の一知識になって頂けたら幸いです。
ご清聴ありがとうございました。

※商用・営利目的の資料ではなく、社内発表用の資料です。

※個人的な見解や解釈を含んでいる場合もございますがご容赦ください。